

広報部会会員による 就業現場レポート (第4回)

江東区最大のマンモス団地の環境美化を担う男たち

住宅共用部清掃業務

暑さに負けず、それぞれの経験とチームワークを武器に区内最大のマンモス団地で奮闘する皆さん取材しました。



取材日に就業の7名の会員さん



取材日にお休みだった4名の会員さん

住宅共用部清掃の概要

- 総戸数** 3,839戸(1～8号棟)
江東区最大、都内でも上位規模
- 管理対象** 賃貸部分6棟2,769戸
(2・8号棟の分譲を除く)
- 就業時間** 9:00～14:30
(実働4.5時間・休憩1時間)
- 業務内容** 玄関、エレベータホール、階段、踊り場、共用部分廊下の床のゴミ・ほこり掃き他

Q. 暑い日が続く中、またコロナ禍での熱中症対策として特に気をつけていることは何ですか？

A. マスクですね、これは辛いです。下にいる時は人に会うのでマスクをしています。上階では状況により、マスクを外して作業しています。また、各自仕事の進捗度合いに合わせ、適時休憩をとるようにしています。その他「3密」を避けるため、毎朝就業開始まで管理室で過ごしていたのを止め、すぐ持ち場に行くようにしました。昼食も各棟や飲食店で済ませるなどしています。

Q. グループのコミュニケーションについて

A. 朝の会で話し合うことにしています。昨日こういう事があったから「こうやろう」「こうした方が」と話し合います。また各棟に違いがあるので、半年毎に担当を替え、メンバーみんながどの棟でも対応出来るようにしています。

Q. 仕事上で特に困った話、大変なこと、やりがいについて

A. せっかくきれいにした廊下や手摺りがハートの「フン」で汚され困っています。最近は廊下に入り込み、巣まで作ります。住民の方々も色々対策をしていますが、隣の棟に行ったりとイタチごっこです。これだけ多くの人が住んでいるとゴミの出し方一つをとってもそれぞれで、嫌な思いをすることもあります。「ご苦労さん」「ありがとう」「気をつけてね」と言ってくれる方も沢山おり、ホッとしますね。



新型コロナの影響で家庭ゴミは増加しています



自転車を倒したり、傷つけないよう注意し、作業しています



長年の経験で何処にゴミが溜まるかわかります



ビヤリハット着用!

階段は効率よく後ろ向きで作業!

足を踏み外しそうになったことがあるとのこと。十分な注意を払っています。



経験が生んだ便利グッズ!

どんな工夫がされているかわかりますか?

- ① 身長に合わせ、箒の柄の長さと塵取りの持ち手高さを調節。体の負担を軽減し、仕事もし易い。
- ② 塵取りに大小の洗濯ばさみを付け、小物の持ち歩きを可能に。

ヒアリング終了後、の案内で共用部分の廊下の清掃状況を見せていただきました。壁の隅々まで細かく気を使っていることがよく分かりました。(広報部会会員：)